

# 2025年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

2025年11月6日

株式会社ナカニシ

## 免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承ください。

© 2025 NAKANISHI INC.

執行役員CFOの鈴木です。  
カンファレンスコールにご参加くださり、ありがとうございます。  
早速ですが、決算ブリーフィングを開始いたします。

**歯科事業**
**Dental Business**

補綴歯科治療・歯周病治療・インプラント治療・訪問歯科診療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。



歯科用ハンドピース



インプラントモーター



超音波スケーラー



歯科用電気モーター

**DCI事業**
**DCI Business**

2023年に買収した米国デンタルチェアメーカーDCI社の業績を示すためにセグメントを新設。北米市場向けにデンタルチェアおよびデンタルパーツの開発・製造・販売を行っています。



デンタルチェア



デンタルキャビネット



デンタルチェア用パーツ

**外科事業**
**Surgical Business**

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用の骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。



コンソール



サージカルモーター



アタッチメント



ディスポーザブル(バー)

**機工事業**
**Industrial Business**

自動車・精密部品等、幅広い製造分野の微細・精密加工で使用するモータースピンドルの開発・製造・販売を行っています。



コントローラー &amp; スピンドル



コントローラー &amp; スピンドル



電動ハンドグラインダー



超音波カッター

© 2025 NAKANISHI INC.

売上高は計画並み。外科事業が高い成長率を維持、歯科・DCI事業は堅調、機工事業が増収に転じたことで、連結売上高は前年同期比+3.8%の増収。

Q3に入り米国関税政策の影響が顕在化。DCI事業の収益性が低下しているものの想定内で推移。連結EBITDAは前年同期比で減益だが、計画は過達

米国政府による対中関税の軽減等、一部に明るい兆しが見えてきたものの、米国需要の先行きは不透明。5/12に発表した通期業績予想は据え置き。

まずは業績ハイライトです。ポイントは3つございます。

1つ目は、トップラインです。2024年度は需要が相対的に弱かったのですが、当期に入ってから期間経過とともに、期初の想定以上に需要が回復してきました。

重点投資している外科事業も高い成長率を示しています。Q3の3カ月間の増収率は37%とトップライングロースが加速している状況です。このように各事業の需要動向が改善しているというのが1つ目のポイントです。

2つ目のポイントは、米国による関税政策の影響がPLにも表れてきたことです。各事業の業況が良いために大幅な下落にはつながっていませんが、特に関税政策の影響が大きいDCI事業では、Q3の利益が大幅に減少しました。関税政策は今後も継続されることを考えると、DCI事業にとって大きな課題となっています。

3つ目のポイントは業績予想を据え置いたことです。足元、Q3までの業績の進捗は良好で、業績予想に比べても強く出ているのですが、Q4は元々業績計画の数字が高い上に関税政策の影響や米国市場の需要が弱含みしている点を考慮すると、既にお示ししている業績予想を大幅に上回るまでには至らないだろうと判断しました。

この3つのポイントをふまえて、連結業績を説明いたします。

百万円

|                                  | 当期実績<br>2025/09 | 前年同期<br>2024/09 | 増減率    | 業績予想<br>5/12 修正 | 増減率    |
|----------------------------------|-----------------|-----------------|--------|-----------------|--------|
| 売 上 高                            | 58,752          | 56,621          | +3.8%  | 58,311          | +0.8%  |
| 売上総利益                            | 33,541          | 32,924          | +1.9%  | 32,103          | +4.5%  |
| 利益率                              | 57.1%           | 58.1%           | —      | 55.1%           | —      |
| EBITDA *                         | 14,786          | 15,597          | -5.2%  | 12,983          | +13.9% |
| マージン                             | 25.2%           | 27.5%           | —      | 22.3%           | —      |
| 営 業 利 益                          | 10,540          | 11,392          | -7.5%  | 8,646           | +21.9% |
| 利益率                              | 17.9%           | 20.1%           | —      | 14.8%           | —      |
| 経 常 利 益                          | 10,934          | 12,280          | -11.0% | 9,240           | +18.3% |
| 利益率                              | 18.6%           | 21.7%           | —      | 15.8%           | —      |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益             | 6,181           | 8,079           | -23.5% | 5,048           | +22.4% |
| 利益率                              | 10.5%           | 14.3%           | —      | 8.7%            | —      |
| E P S (円)                        | 73.85           | 95.42           | —      | —               | —      |
| * EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 |                 |                 |        |                 |        |
| 為替レート - 米ドル (円)                  | 148.82          | 150.61          | -1.79  | 145.00          | +3.82  |
| - ユーロ (円)                        | 165.51          | 163.86          | +1.65  | 155.00          | +10.51 |

■ 為替影響額：売上高 -404百万円（前年同期比）、+1,649百万円（予想レート比）

© 2025 NAKANISHI INC.

4

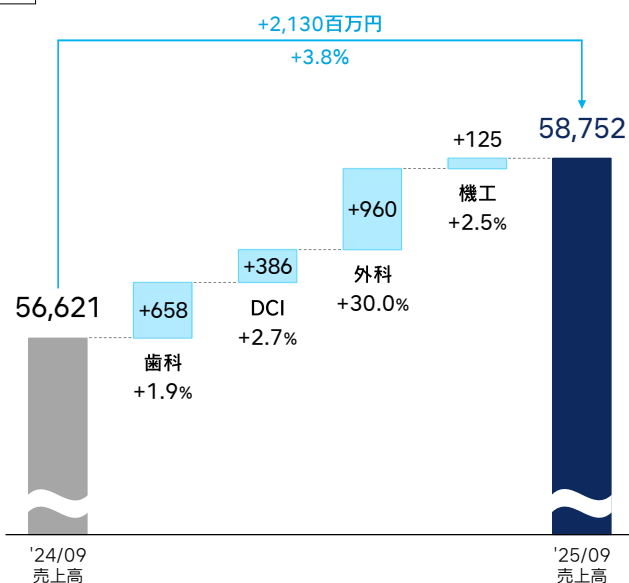
まずは連結損益計算書のポイントをご説明いたします。

売上高は業績予想の計画線内にありますが、EBITDAは業績予想に対して13.9%ほど過達しています。販管費はほぼ業績予想通りに推移しているので、このアップサイドは売上総利益が寄与していることになります。

業績予想では売上総利益率を55.1%に設定していましたが、実績は57.1%と2ポイントほど上振れました。この上振れの要因としては、①業績予想には織り込まれていない未実現利益によるもの、②想定為替レートに比べ円安傾向あること。特に対ユーロで円安が進んでいることが挙げられます。

また、副次的な要素としては、利益率が最も高い外科事業の売上が大幅に伸長したことによるミックスの改善があります。

百万円



|       | 前年同期<br>2024/09<br>A | 当期実績<br>2025/09<br>B | うち、為替影響額 | 増減率<br>B/A-1 |
|-------|----------------------|----------------------|----------|--------------|
| 歯科事業  | 34,126               | 34,784               | -230     | +1.9%        |
| DCI事業 | 14,305               | 14,692               | -170     | +2.7%        |
| 外科事業  | 3,207                | 4,168                | -9       | +30.0%       |
| 機工事業  | 4,982                | 5,107                | +5       | +2.5%        |
| 合 計   | 56,621               | 58,752               | -404     | +3.8%        |

© 2025 NAKANISHI INC.

5

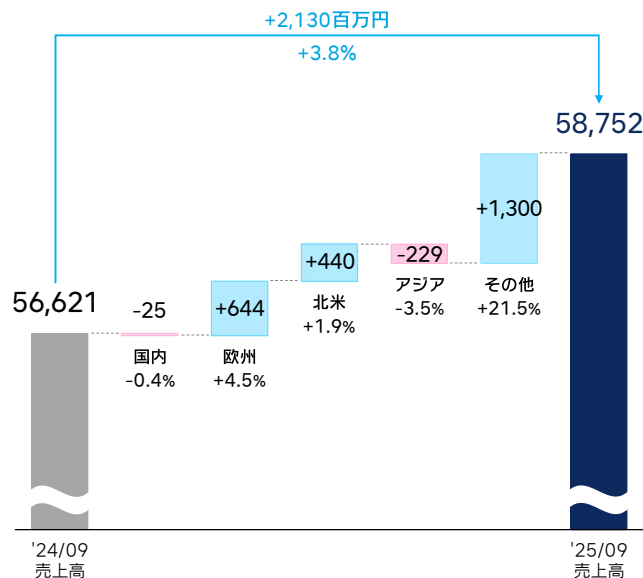
続いて、事業セグメント別の売上高の状況を説明します。

Q3累計期間においては、歯科・DCI・外科・機工のすべての事業が増収となりました。特に外科事業が高い成長を遂げており、前年同期に比べて9.6億円、+30%の増収となりました。Q3の3カ月間では前年同期比+36.7%と成長が加速しています。

ここには競合他社の市場撤退による商機の取り込みは含まれておらず、あくまでも既存事業の伸びということになります。期初から進めてきた販路の拡大が実を結び、米国や欧州で売上を伸ばしています。

来期以降も販売チャネルの確立とともに事業が成長していくものと期待しています。

百万円



|       | 前年同期<br>2024/09<br>A | 当期実績<br>2025/09<br>B | うち、為替影響額 | 増減率<br>B/A-1 |
|-------|----------------------|----------------------|----------|--------------|
| 国 内   | 6,878                | 6,853                | -        | -0.4%        |
| 欧 州   | 14,448               | 15,092               | +159     | +4.5%        |
| 北 米   | 22,604               | 23,044               | -221     | +1.9%        |
| ア ジ ア | 6,639                | 6,410                | -143     | -3.5%        |
| そ の 他 | 6,051                | 7,351                | -198     | +21.5%       |
| 合 計   | 56,621               | 58,752               | -404     | +3.8%        |

© 2025 NAKANISHI INC.

6

次に地域ごとの売上高の推移をご説明いたします。

売上高が最も増加したのは「その他地域」と区分している市場です。この区分には南米・中近東・オセアニア・ロシアの各市場が含まれています。特に南米・ロシアが伸長しました。期末に向けてこのトレンドが続いてくれるものと期待しています。

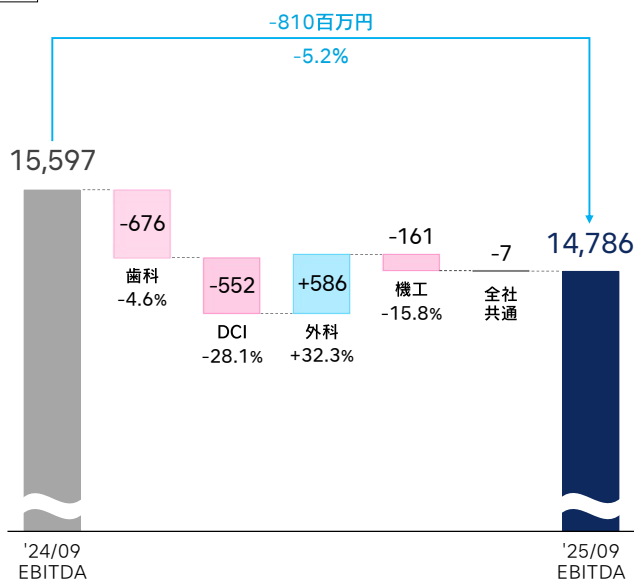
また、欧州での売上が良かったことにも触れておきます。欧州の市況感は決して良いものではありませんが、当期は欧州各国で順調に売上を伸ばしています。増収のけん引役となっているのが、今年3月のIDS2025でお披露目した予防歯科の新製品である「Varios Combi Pro2」です。欧州各国で発売し、順調に販売を伸ばしています。

米国では好調・不調が混在している状況でした。外科事業は好調でしたが、歯科が伸び悩みました。米国の自社ブランド販売ではセルアウトが堅調で市場シェアも伸びていたことから、Q3にはセルインも復調すると見込んでいましたが、想定に比べ販売回復は限定的でした。

流通網の再編を進めている国内市場も伸び悩みました。10月からの切り替えに向けて在庫調整局面が続いていたことから、引き続き販売は伸び悩みました。10月1日から新たな流通網による販売がスタートしました。これまでの抑えられていた需要が一気に戻ってきたという感触は今のところは得られていないですが、新たな販売体制がきちんと回るように営業活動に注力していきます。

アジアの主力市場である中国では構造的な状況の悪さ、需要の停滞が続いており、残念ながら状況が改善する兆しは今のところまだ見えていません。また韓国ではOEM大口顧客向けの製品が切り替え時期に入っており、一時的な買い控えが発生しています。新製品に切り替わったら需要は戻ると見込んでいます。

百万円



|       | 前年同期<br>2024/09<br>A | 当期実績<br>2025/09<br>B | 増減率<br>B/A-1 |
|-------|----------------------|----------------------|--------------|
| 歯科事業  | 14,569               | 13,892               | -4.6%        |
| DCI事業 | 1,968                | 1,416                | -28.1%       |
| 外科事業  | 1,816                | 2,403                | +32.3%       |
| 機工事業  | 1,020                | 859                  | -15.8%       |
| 全社共通  | -3,778               | -3,785               | -            |
| 合 計   | 15,597               | 14,786               | -5.2%        |

|               |        |         |
|---------------|--------|---------|
| 為替影響額 (前年同期比) | -63百万円 | (-0.4%) |
|---------------|--------|---------|

© 2025 NAKANISHI INC.

7

事業別EBITDAの状況を説明いたします。

歯科事業は増収でしたがEBITDAは減少しました。利益率の高い国内や米国の販売が弱く、利益率が劣る新興国市場、南米やロシアの販売が伸びたことでミックスが悪化しました。また、プロダクトミックスの変化も減益要因のひとつとなりました。

欧州市場では増収となりましたが、そのけん引役は新製品「Varios Combi Pro2」でした。この新製品は電気ユニット製品ですので、歯科用ハンドピースなどに比べると売上原価率が高く利益率低下につながりました。ただ、この新製品の販売後はパウダー等の利益率が高い消耗品が後から売れるという特徴があります。

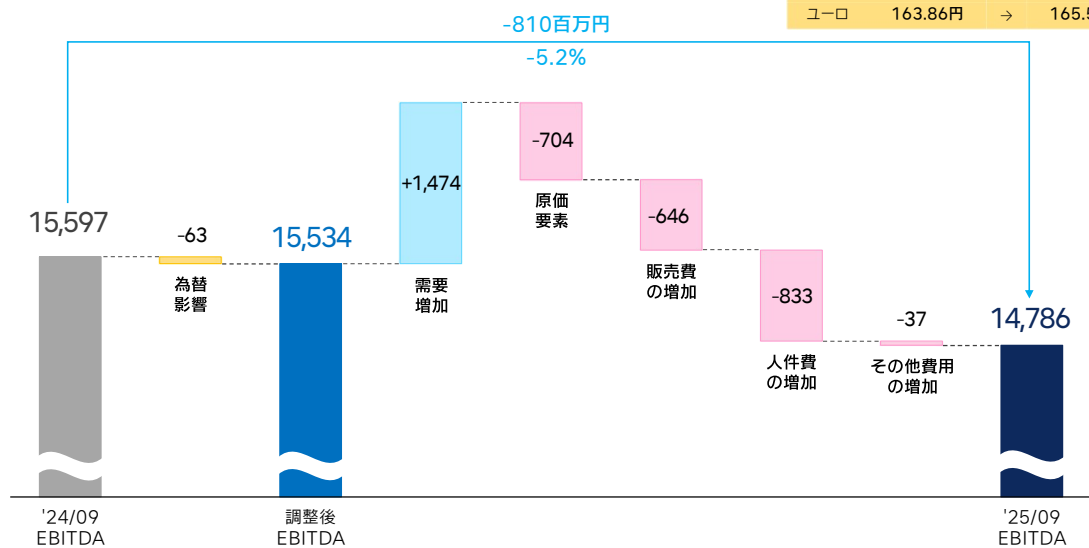
DCI事業は米国政府による関税政策の影響が顕在化しました。関税によって売上総利益が目減りしている状況です。目標とするイニシアティブは順調に進んでおり、業況は悪くありませんが、関税による利益減少が顕著となっています。

外科事業はトップライングロースに応じて利益もしっかりと伸ばしています。

機工事業はQ3に入って回復が進みましたが前年同期比では減益が続いています。ナカニシの機工事業は順調に回復していますが、イエガーの再建は道半ばで利益を圧迫しました。

百万円

|     | 平均為替レート    |            |
|-----|------------|------------|
|     | 2024/09 実績 | 2025/09 実績 |
| 米ドル | 150.61円    | → 148.82円  |
| ユーロ | 163.86円    | → 165.51円  |



© 2025 NAKANISHI INC.

8

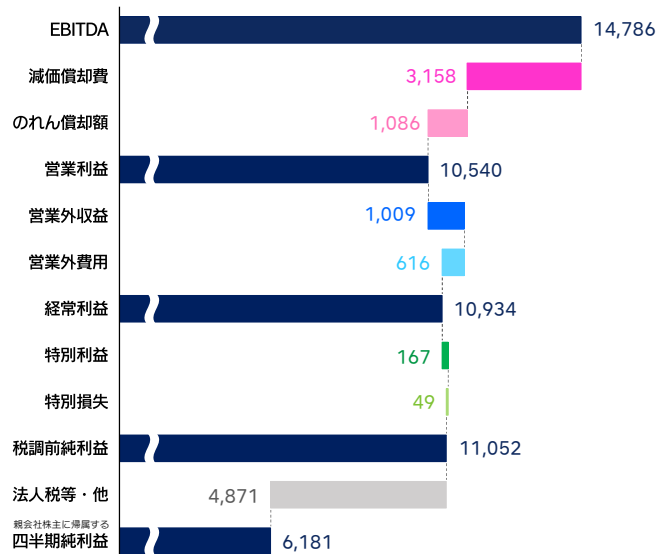
続いてEBITDAの増減をご説明します。

Q3のポイントとしては、需給バランスの改善が進み、工場の稼働率を高めて在庫を事業成長並みに積み増す局面に入ったということです。

Q3累計を前年同期比でみると、前年は仕掛品調整額がマイナスとなって売上原価が小さくなっていましたが、当期はその軽減効果が剥落して原価率が悪化しています。仕掛品調整額による影響額は約10億円出ていました。一方、未実現利益としては利益を約4億円押し上げる形となりました。販売費の増加に関してはQ1・Q2に発生しており、Q3は前年同期並みでした。

人件費はQ3に約3億円増加しましたが、これはナカニシ単体の採用、NSKアメリカの外科事業の採用等によるものです。

百万円



営業外収益

- ・受取利息 729
- ・雑収入 223

営業外費用

- ・支払利息 125
- ・為替差損 457

特別利益

- ・訴訟損失引当金戻入額 164

特別損失

- ・固定資産除却損 24
- ・固定資産解体費用 17

百万円

|          | 当 期 末<br>2025/09 | 前 期 末<br>2024/12 | 増減額    | 主な増減内容                          |                             |
|----------|------------------|------------------|--------|---------------------------------|-----------------------------|
| 総資産      | 162,466          | 158,299          | +4,166 | ・建物及び構築物<br>・工具・器具・備品           | +1,945<br>+327              |
| - 現金及び預金 | 53,460           | 46,051           | +7,408 |                                 |                             |
| - 棚卸資産   | 25,317           | 25,024           | +293   | ・商品及び製品<br>・仕掛品                 | +293<br>-161                |
| - のれん    | 19,085           | 21,389           | -2,304 | ・原材料及び貯蔵品                       | +161                        |
| 負債       | 42,902           | 37,100           | +5,801 | ・買掛金                            | +769                        |
| - 有利子負債  | 26,507           | 18,728           | +7,778 | ・短期借入金<br>・1年内返済長期借入金<br>・長期借入金 | -8,250<br>+5,991<br>+10,037 |
| 純資産      | 119,564          | 121,199          | -1,635 | ・為替換算調整勘定                       | -836                        |
| - 利益剰余金  | 118,625          | 116,593          | +2,032 |                                 |                             |

|       | 当期実績<br>2025/09 | 前年同期<br>2024/09 | 増減額  | 当期実績の主な内容          |              |
|-------|-----------------|-----------------|------|--------------------|--------------|
| 設備投資額 | 3,930           | 3,296           | +633 | ・M1関連<br>・子会社事務所改装 | 2,004<br>183 |
| 減価償却費 | 3,158           | 3,032           | +126 |                    |              |

# 2025年12月期 連結業績予想

2025年5月12日公表値から変更なし

**2025-02-12 期初発表業績予想の前提**

- 売上高は前期比+5%成長。為替影響（円高シフトで年間▲32億円）を除外した実質的な成長率は+9%  
歯科・DCI・外科・機工のすべての事業で売上アップを目指す計画
- 売上成長に伴い利益も増加する局面だが、成長ドライバーである米国事業（NSK・DCI）・外科事業への成長投資を時機を逃さずに推進するべく販管費を積み増したため、EBITDAおよび各利益は減益
- 円安傾向は反転し、緩やかに円高にシフトする想定で為替レートを設定。全般的な収益性の低下に加え2024年12月期に計上していた為替差益の剥落を織り込む。

**2025-05-12 業績予想の修正（関税影響の織り込み無し）**

上記「当初の業績予想の前提」の他、Q1に過年度法人税等を計上したため当期純利益予想値を引き下げ

**2025-08-08 業績予想の据え置き（関税影響の織り込み）**

当期の関税影響は約10～15億円。上半期の業績過達や価格転嫁・コスト削減等で影響を相殺、5/12通期業績予想を据え置き

足元の事業動向は好調で米国関税の影響を相殺できている水準にあるものの、一方で外部環境には不透明感が強まっていると考えており、通期の業績予想は据え置きとしました。

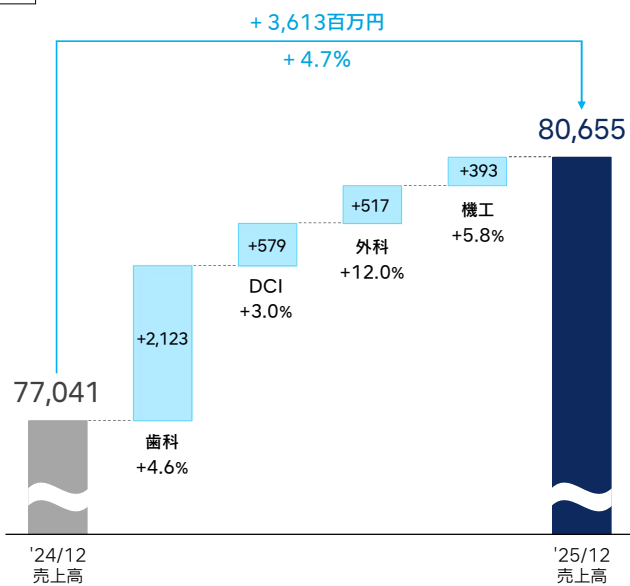
米国関税の影響額は概ね想定とおりに着地するものと見込んでおり、NSKアメリカ（歯科・外科・機工）およびDCIの2社で約10～15億円の利益減少を想定しています。

以上で、決算概況の説明を終了いたします。

百万円

|                     |      | 当期予想<br>2025/5/12修正 | 前期実績<br>2024/12 | 増減<br>増減額          | 増減<br>増減率 |
|---------------------|------|---------------------|-----------------|--------------------|-----------|
| 売 上 高               |      | 80,655              | 77,041          | +3,613             | +4.7%     |
| 売 上 総 利 益           |      | 44,784              | 44,418          | +366               | +0.8%     |
|                     | 利益率  | 55.5%               | 57.7%           | -2.1pt             | -         |
| E B I T D A *       |      | 18,932              | 20,460          | -1,527             | -7.5%     |
|                     | マージン | 23.5%               | 26.6%           | -3.1pt             | -         |
| 営 業 利 益             |      | 13,150              | 14,596          | -1,445             | -9.9%     |
|                     | 利益率  | 16.3%               | 18.9%           | -2.6pt             | -         |
| 経 常 利 益             |      | 13,840              | 17,283          | -3,442             | -19.9%    |
|                     | 利益率  | 17.2%               | 22.4%           | -5.3pt             | -         |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 |      | 8,372               | 8,577           | -205               | -2.4%     |
|                     | 利益率  | 10.4%               | 11.1%           | -0.8pt             | -         |
| E P S               | (円)  | 99.14               | 101.37          | -                  | -         |
| 設 備 投 資 額           |      | 5,768               | 5,335           | +433               | -         |
| 減 価 償 却 費           |      | 4,365               | 4,208           | +157               | -         |
| 為替レート               |      |                     |                 |                    |           |
| - 米ドル               | (円)  | 145.00              | 151.44          | 為替感応度：年間売上高 242百万円 |           |
| - ユーロ               | (円)  | 155.00              | 163.80          | 為替感応度：年間売上高 98百万円  |           |

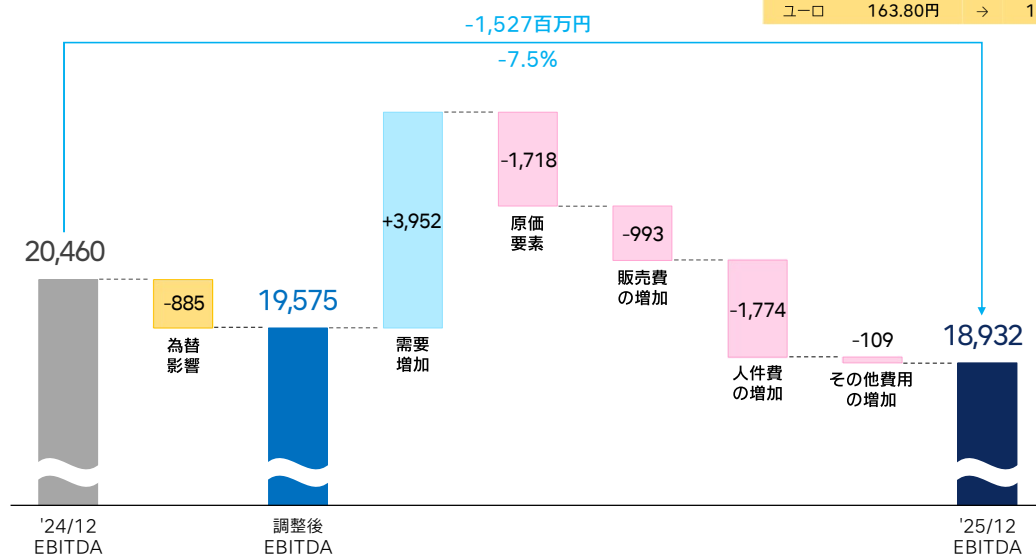
百万円



|               | 前期実績<br>2024/12 | 当期予想<br>2025/12 | 増減      |
|---------------|-----------------|-----------------|---------|
| 歯科事業          | 46,527          | 48,650          | +4.6%   |
| DCI事業         | 19,454          | 20,034          | +3.0%   |
| 外科事業          | 4,321           | 4,839           | +12.0%  |
| 機工事業          | 6,738           | 7,131           | +5.8%   |
| 合 計           | 77,041          | 80,655          | +4.7%   |
| 為替影響額 (前年同期比) |                 | -3,241百万円       | (-4.2%) |

百万円

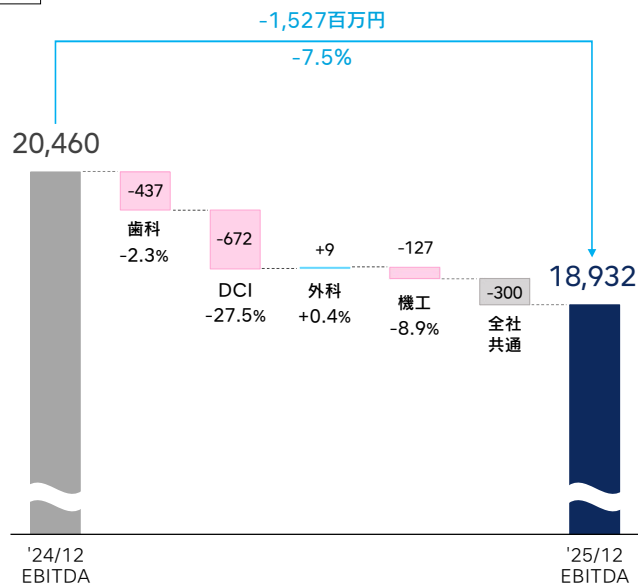
| 平均為替レート |            |            |
|---------|------------|------------|
|         | 2024/12 実績 | 2025/12 予想 |
| 米ドル     | 151.44円    | → 145.00円  |
| ユーロ     | 163.80円    | → 155.00円  |



© 2025 NAKANISHI INC.

15

百万円



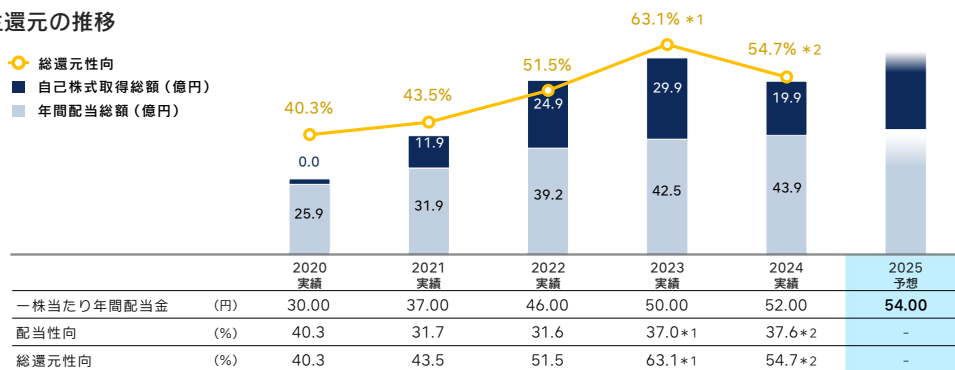
|               | 前期実績<br>2024/12 | 当期予想<br>2025/12 | 増減              |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 歯科事業          | 19,337          | 18,900          | -2.3%           |
| DCI事業         | 2,444           | 1,772           | -27.5%          |
| 外科事業          | 2,379           | 2,388           | +0.4%           |
| 機工事業          | 1,434           | 1,306           | -8.9%           |
| 全社共通          | -5,135          | -5,436          | -               |
| 合 計           | 20,460          | 18,932          | -7.5%           |
| 為替影響額 (前年同期比) |                 |                 | -885百万円 (-4.3%) |

## ■ 株主還元の方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主還元をバランスよく実施

中期経営計画「N2030」で定める**中期的な利益還元基準：総還元性向70%**の達成に向けて**機動的な自社株買いと累進配当制度に基づく継続的な増配**を実施

## ■ 株主還元の推移



\*1 DCI買取に係る特別利益を除外した調整後純利益を基準として算出  
\*2 イエガー減損に伴う利益減等を控除した調整後純利益を基準として算出

